

塙保己一没後 200 周年記念大会 第 15 回 塙保己一賞 表彰式・記念イベント

郷土が生んだ偉人「塙保己一」のように、障害がありながらも社会的に顕著な活躍をしている人などを表彰する「第 15 回塙保己一賞」を開催します。

日時 12月18日(土) (開場 正午)

・表彰式 午後1時～2時
・記念イベント 午後2時15分～6時

※手話通訳・要約筆記があります。

会場 本庄市民文化会館

※ JR 各駅 (本庄駅南口、本庄早稲田駅北口) から臨時無料送迎バスを運行します。

入場料 無料

定員 500 名 (多数の場合抽選)

申込 12月6日(月)までに次の①～⑤を記載し、☒・

☒または電話で埼玉県障害者福祉推進課へ

①「第 15 回塙保己一賞表彰式・記念イベント申込」と明記

②郵便番号・住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤参加人数
※参加人数が2名以上の場合、②～④は代表者のみ記載。

入場について 申込後、12月13日(月)までに入場券を送付します。当日は入場券を必ず持参してください。

◆記念イベント



・本郷和人氏 (東京大学史料編纂所教授) による講演「日本の歴史に見る塙保己一の貢献」

・ゴールボールパラリンピアンによる実演とトーク

・子どもたちによる群読劇「塙保己一物語」



・渋沢栄一アンドロイドトークイベント
(協力:深谷市・渋沢栄一記念館)

★埼玉県障害者福祉推進課 ☎048-830-3309・FAX048-830-4789・☒a3310-06@pref.saitama.lg.jp
★セルディ ☎72-8851・FAX72-8854



不撓不屈の人

ふとふくくつひん

塙保己一の生涯

第六話 和学講談所設立

設立のきっかけ

保己一は、群書類従の編纂以外にも大きな仕事をしています。それが和学講談所の設立です。

伝記「温故堂塙先生伝」によると、友人の浄聖院亮行(広報ほんじょうりやうえん)に勧められたといわれています。また、保己一から学びたいと考えた者たちが保己一宅に押し寄せ、手狭となってきたこともありました。こうして設立を決めたと思われま

土地の拝借

寛政五年(一七九三)二月、保己一は和学講談所と文庫の

設立のため、土地の拝借を願い出、許可されました。江戸麹町裏六番町に土地三百坪を見つけ、建設を願うと七月には許可され、工事が開始、十一月八日に完成しました。

温故堂

完成した講談所の名前は保己一たつての願いで、老中松平定信が「温故堂」と命名しました。現在、塙保己一記念館には温故堂の名で出した規律書が数点残されているほか、東京の温故学会には「温故堂」の額が伝えられています。当初は温故堂の名前で運営されましたが、幕府の組織に組み込まれてからは、次第に正式名称も「和学講談所」と呼ばれるようになりました。

運営

温故堂は保己一と弟子たち

塙保己一没後200周年記念企画「不撓不屈の人」。今回は、「塙保己一の生涯」第六話をお届けします。また、第15回塙保己一賞表彰式や催し情報などをお知らせします。

によって運営されましたが、幕府からも重宝がられました。寛政七年(一七九五)には幕府から手当てが下され、幕府の組織に組み込まれました。林大学頭の支配下にありましたが、運営自体はそのまま保己一に任せられます。

和学講談所には四つの機能がありました。

- 一、国学を学ぶ学校の機能
- 二、文献資料の調査・収集・研究を行う研究所の機能
- 三、幕府の要求にこたえて回答等を行う行政的機能
- 四、公益的な出版事業を行う公社の機能

このように、和学講談所は大変重要な機能を持っていました。また、幕府としても旗本子弟の教育機関であり、かつ就職先にもなっていて、とても大切な機関であったと考えられます。

ミニ知識⑥

保己一の弟子たち

保己一には多くの弟子や門人がいました。草間(鴻池)伊助は前回紹介しましたが、今回は他の弟子たちを紹介しましょう。

- 屋代弘賢 通称太郎。幕臣で国学者。能筆家で保己一の代筆を務める。保己一が行う事業の中心的人物で、群書類従の編纂や和学講談所の運営で大きな役割を果たす。
- 中山信名 通称平四郎。常陸国出身。十六歳で江戸に出て保己一の弟子となる。保己一が旅をする際、よくお供をする。保己一の伝記を書く。
- 石原正明 通称喜左衛門。尾張国出身。群書類従の版木の管理に尽力。
- 奈佐勝卓 幕臣で国学者。保己一より一歳年上だが門人となり、和学講談所の初代会頭を務める。
- 横田茂語 通称孫兵衛。保己一とともに萩原宗固の弟子となり、その後保己一に師事した。

塙保己一没後 200 周年記念事業情報

市民総合大学公開講座 塙保己一とヘレンケラー

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会との連携講座です。

日時 12月7日(火) ①午前10時～、②午後1時30分～

※①と②は同内容です。

会場 本庄市民文化会館

講師 種村 朋文 氏 (本庄市身体障害者福祉会会長)

定員 300 名 (先着順)

費用 無料

※申込不要。当日会場へお越しください。

★生涯学習課 ☎22-3248・FAX25-1193

企画展 塙保己一展

明治時代に発行された伝記「塙検校」や、和綴じの『群書類従』など、ふだん目にできない資料を、塙保己一の生涯をわかりやすくまとめたパネルとともに展示します。

期間 11月3日(祝)～28日(日) (月曜休館)

会場 図書館本館1階

★図書館(本館) ☎24-3746・FAX24-3718

文芸講演会 『群書類従』を語る

塙保己一没後200周年を記念して発行された『世のため 後のため ものがたり塙保己一』の編集に携わった講師が、群書類従に記されている、意外と知らない身近な話をお話します。

日時 11月20日(土) 午後2時～3時30分

会場 図書館本館2階会議室

講師 荒井 一夫 氏 (総検校塙保己一先生遺徳顕彰会事業部委員)

定員 15 名 (先着順)

申込 11月12日(金)から電話または直接下記へ

★図書館(本館) ☎24-3746・FAX24-3718



塙保己一に関する質問などを受け付けています。詳しくは、右記コードから。
★広報課 ☎25-1155

